

質問紙調査から見える大山町の児童・生徒の姿

「生活習慣の乱れ・規範意識に大きな課題！」

事例が社会的な問題となっており、大山町内でも同様の問題が起こっています。

【生活習慣の乱れ・規範意識に大きな課題！】
 昨年度の町報でもお知らせしましたが、この数年、スマートフォン等でのトラブルやゲームによる基本的な生活習慣の乱れ、オンラインゲームによる睡眠不足から体調を崩す

事例が社会的な問題となっており、大山町内でも同様の問題が起こっています。

「普段（月～金曜日）、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を1日1時間

(表4) 質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	国	県	大山町	県との差	国	県	大山町	県との差
普段（月～金曜日）、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）を1日1時間以上している割合	55.0	47.1	53.0	5.9	57.1	54.0	52.5	-1.5
普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日1時間以上している割合（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	18.5	13.0	17.8	4.8	47.8	39.3	42.4	3.1
携帯電話やスマートフォンを持っている割合	61.1	50.4	54.5	4.1	81.2	70.4	71.9	1.5

(表5) 質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	国	県	大山町	県との差	国	県	大山町	県との差
朝食を毎日食べている割合	95.5	96.3	98.5	2.2	93.3	95.2	90.0	-5.2

(表6) 質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	国	県	大山町	県との差	国	県	大山町	県との差
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日1時間以上、勉強をしている割合（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	62.5	62.2	69.4	7.2	67.9	67.2	51.1	-16.1

(表7) 質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	国	県	大山町	県との差	国	県	大山町	県との差
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合	96.6	96.9	96.3	-0.6	93.6	93.8	88.4	-5.4

(表8) 質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	国	県	大山町	県との差	国	県	大山町	県との差
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く割合	16.4	25.3	34.3	9.0	7.6	15.3	25.2	9.9

（表4）からもわかるように、携帯電話やスマートフォンの所持率は年々増加傾向にあり、小学校6年生が54・5%、中学校3年生が71・9%であり、大山町の児童・生徒は、県内でも所持率が高い結果となっています。

長時間、ゲームやインターネットをすることにより、起床時間が遅くなり、「朝食を毎日食べない」（表5）児童・生徒がいることも事実です。

さらに、中学校3年生については、「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日1時間以上、勉強をしている割合（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」（表6）が51・1%であり、県より16・1%も低く大きな課題であり、長時間のインターネット利用の影響も考えられます。

インターネットの匿名性により、児童・生徒の規範意識も低下傾向にあります。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合」（表7）も県より小学校6年生が0・6%低く、中学校3年生が5・4%も低い結果です。

これは、ブックスタートなどを始め、乳幼児期からの読み聞かせや小・中学校での音読ボランティア、司書教諭や学校司書の取り組み、学校での委員会活動などの成果だと考えられます。小・中学校のノーメディア週間などを活用しながら、読書に親しんだり、親子で会話をすることで、心豊かな大山町の子どもの育成が大切です。

